

共に生きる介護づくり

共に生きる

2017 年度定期総会記念シンポジウム

から

共に働く街づくりへ



資 料 集

6/25(日)14:00~17:00(受付12:50~)

@越谷市中央市民会館5F 第2,3会議室 会費(資料代) 会員 500円 非会員 700円

主催:NPO 法人障害者の職場参加をすすめる会

後援:越谷市 春日部市

問い合わせ 048-964-1819 shokuba@deluxe.ocn.ne.jp

共に生きる介護づくりから共に働く街づくりへ

開催要項

1. 名称：共に生きる街の介護人養成講座うんとこしょ オープニングシンポジウム
「共に生きる介護づくりから共に働く街づくりへ」
2. 内容：かつて障害のある人々が人里離れた施設か家の奥で閉ざされた生活を強いられたり、中には「福祉奴隷工場」にも転じた徒弟的な工場で働かざるを得ない状況があった。が、その一方で重い障害のある人も含め、バリアと差別に満ちた地域の学校や職場で他の人々とせめぎあいながら生きていたことも見落とせない。ひるがえって現在、教育・福祉・雇用の支援施策の拡充によって、さまざまな障害のある人々が身近な地域の中で暮らし、働く時代になったが、その半面で障害のある人々には特別な支援が必要で、普通の人々が普通に関ったのでは差別にもなりかねないとの意識が広まった。その結果、いくら支援が増えても支援が足りなくなる状況が生まれている。また、学校、街、職場で一緒に生きることが往々にして「過重な負担」を強いることとして、予め回避される傾向も生じている。

こうした支援のジレンマをこえ、さまざまな障害のある人と他の人々が、また異なる障害のある人々が互いに出会い、一緒に街に出ることを進めるため、生活クラブ生協越谷地域協議会をはじめ4団体が、年間にわたり「うんとこしょー共に生きる街の介護人養成講座」を開催する。この講座に関することをひとつの契機にして、当会はこれまでの世一緒の活動や就労支援センター受託の経験を活かし、生協やワーカーズコレクティブをはじめとする市民団体及び福祉施設等との連携を活かした八百屋カフェ等の店づくり構想を具体化し、これを地域における就労・職場参加支援の事業として立ち上げる準備にとりかかる。

このシンポでは、他地域の先進事例を学ぶとともに、地域の諸団体の取組の報告を受け、上記の事業準備を含め共に働く街づくりへ向けてさらなる連携・協働の課題を探る。

3. 日時：2017年6月25日（日）14：00～17：00（受付：12：50～）
4. 会場：越谷市中央市民会館5階第2～3会議室（越谷市越ヶ谷4-1-1）
5. 会費：会員500円 非会員700円（資料代）
6. プログラム

総合司会：NPO法人障害者の職場参加をすすめる会

問題提起：「共に生きる介護づくりから就労・職場参加支援事業準備へ」

当会 山下 浩志事務局長

先進事例報告：伊藤 勲さん（NPO法人やまぼうし理事長）

パネルディスカッション：

- パネリスト： 飯島 信吾さん（インターネット事業団）
小川 秀一さん（ワーカーズコープ・就労継続B型事業所ひよせ）
岡田 英夫さん（ローカルアクセス）
清水 泰江さん（生活クラブ生活協同組合越谷地域協議会）
日吉 孝子さん（当会運営委員）

コメンテーター：田中 克尚さん（越谷市障害福祉課副課長）春日部市障害福祉課（依頼中）
堀 利和さん（共同連代表）

コーディネーター：朝日 雅也さん（埼玉県立大学社会福祉子ども学科教授）
手話通訳（予定） 地下駐車場（1時間無料、その後30分毎に100円）

7. 主催：NPO法人障害者の職場参加をすすめる会
〒343-0023 埼玉県越谷市東越谷1-1-7 須賀ビル101 職場参加ビューロー・世一緒内
8. 後援：越谷市 ・ 春日部市（予定）
9. お問い合わせ：

Tel&Fax : 048-964-1819 e-mail:shokuba@deluxe.ocn.ne.jp